

# 災害救助の経験を生かし 安全で安心できる地域の 暮らしを守る

## 宮川宗一郎の一般質問

- ① 県内市町村の被災者支援業務のシステム化  
県の取り組みと最近の状況
- ② 我が国の新システム「クラウド型被災者支援システム」  
その特長と県内市町村の導入状況
- ③ システム化していない県内市町村への働きかけ  
知事の考えを問う

## 福岡県議として初めての一般質問に登壇 県内市町村の防災システムの対応を問う

令和5年4月の統一地方選挙にて、福岡市城南区より福岡県議会議員に初当選させていただいた宮川宗一郎です。昨年4月まで、陸上自衛隊ヘリコプター操縦士として平成29年の九州北部豪雨をはじめとしてさまざまな災害派遣に従事してまいりました。これからは政治の立場から、近年の激甚化する自然災害から故郷である福岡を守り、安心して暮らせる町づくりを行っていくために邁進してまいります。

さて6月16日、初の県議会に出席し、一般質問をさせていただきました。主題は、私が第一に力を入れたかった『防災』。災害時対応を迅速かつ効率的に行えるように、と全国で普及が進む防災情報システムに関する質問です。

予測できない災害に対応していくためにも、各所と一致団結し、今できることはとことんやって地域の防災・減災につなげていきたいと考えています。



みやがわ そういちろう

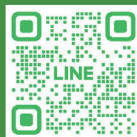
## 宮川 宗一郎 後援会

〒814-0123 福岡市城南区長尾5丁目31-8 有吉ビル202号

TEL:092-836-9738 FAX:092-836-9737

公式サイト <https://miyagawa-soichiro.com>

LINE公式アカウント



公式Instagram



公式サイト



宮川宗一郎後援会では、随時入会のお申し込みを受け付けております。詳しくは公式サイトへ!

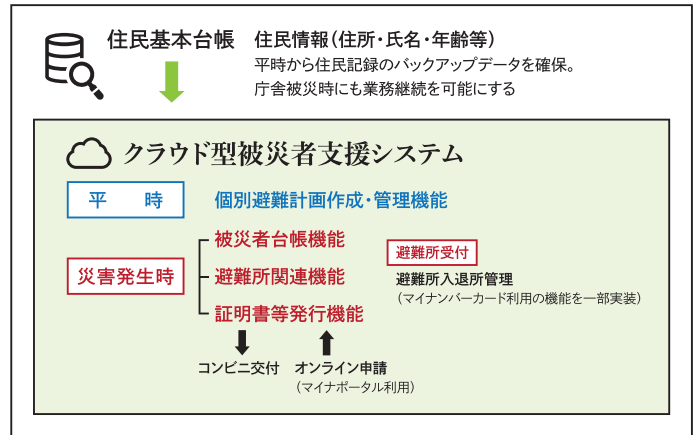
# 突然の災害! 効率的な情報収集と一刻も早い被災者の救出のために防災のデジタル化を

近年、局地的に強い雨に見舞われることが増え、7月には北部九州で大雨の被害が出たばかりです。私が自衛官だった頃に発生した平成29年九州北部豪雨も今回と同様線状降水帯によるもので、場所によっては当日2日間の総降水量が7月の月降水量平年値を超える大雨となりました。私は濁流で流された家々や崩落した橋を眼下にヘリコプターを操縦し、朝倉市や東峰村の人々の救助にあたりました。自治体や警察、消防の方々と情報を共有し、協力体制を素早くつくること。救助においてこれは欠かせません。防災分野のデジタル化は救助の体制づくりを、きっと効率よくサポートしてくれると考えます。

国、自治体とも、万が一の場合は命を救うために全力で動きます。そして地域のお一人おひとりが自らの命を守る、ご近所と助け合う行動もまた大切です。力を合わせて、被害を最小限にしていきたいと思います。

## 我が国の防災情報システムの今

平成23年度から運用を開始した平時から被災後の生活再建まで幅広く活躍できるについて、情報集約機能や地図情報機能などの強化が図られる一方、今年1月からは平時から被災後の生活再建まで幅広く活躍できる「クラウド型被災者支援システム」が運用開始。被害状況の確認、避難所の運営から速やかな生活再建に向けた罹災証明書の発行業務に至るまで、多岐にわたる地域行政を支える役割を果たします。県内市町村でもこれらシステムへの対応が進むように努めてまいります。



### クラウド型被災者支援システム 平時の活用

- 近年の豪雨災害では65歳以上の死者数の割合が高く、高齢者等の避難支援の仕組みが必要。
- クラウド型被災者支援システムの活用により、平時においては、自ら避難することが困難な高齢者等の個別避難計画の効率的・効果的な作成を支援し、災害時における高齢者等の円滑な避難を実現。

#### クラウド型被災者支援システム

○個別避難計画作成・管理機能  
浸水区域に居住、日常生活上介護を要する、独居など、複数の条件を組み合わせ、自ら避難することが困難な高齢者等を抽出し、個別避難計画を作成。

- ・個別避難計画の効率的、効果的な作成・更新
- ・災害時における円滑な避難の実現

#### ※個別避難計画とは

- ・自ら避難することが困難な高齢者や障害者等の避難支援を実施するため、一人ひとりの避難先や支援者等を定めた計画
- ・令和3年5月の災害対策基本法の改正により市町村の努力義務とされ、概ね5年間で優先度の高い者について計画を作成

#### 個別避難計画作成の優先度が高い人の抽出を支援する機能を追加!

ハザードマップ上において危険な場所に住む避難行動要支援者を検索して、個別避難計画を作成する優先度が高い人の候補者を抽出

- ①避難行動要支援者名簿に記録されている避難支援等を必要とする事由(要介護、障害、難病等)を指定して検索が可能。
- ②浸水や土砂災害などのハザードマップを選択し、危険な場所に住む避難行動要支援者を検索することが可能。

### クラウド型被災者支援システム 災害発生時の活用

- クラウド型被災者支援システムの活用により、災害発生時には避難所業務の効率化や、迅速な被災者台帳の作成など、地方自治体における被災者支援業務を効率化するとともに、マイナンバーカードを活用し、罹災証明書のコンビニ交付など被災者の利便性を向上。

#### クラウド型被災者支援システム

○被災者台帳機能  
・住民基本台帳データを活用し、被災者支援に必要な情報を集約した被災者台帳を迅速に作成  
・住家の被害認定調査や罹災証明書の交付状況等を一元管理

- ・避難所の管理・運営業務の効率化

○避難所関連機能  
・避難所の開設状況や、停電・断水等の状況を一元管理  
・避難者名簿の迅速な作成、外出状況も含めた人数の管理、持病や介護の状況など避難者の配慮事項の把握が可能

- ・一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな被災者支援の実施

○証明書等発行機能  
・マイナンバーカードを活用し、自宅や遠隔地から被災者支援手続きのオンライン申請や、コンビニでの罹災証明書の交付が可能

- ・被災者の利便性向上と負担軽減

デジタル技術の活用により、  
地方自治体における災害対応や被災者支援を円滑化



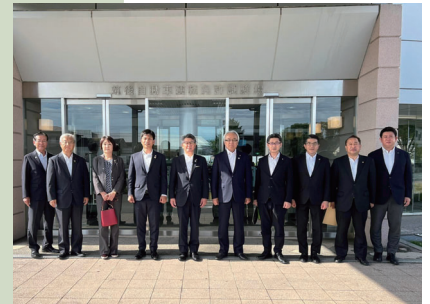
# 推進します



## 各所と連携を図り、安心安全な福岡に!

### 警察委員会管内視察

7月3日～4日、所属する警察委員会より、筑後自動車運転免許試験場、小郡警察署、筑後警察署を視察しました。  
高齢者免許人口の増加に伴って厳しさを増す高齢者技能講習を、減点をいただきながら体験。飲酒運転やニセ電話詐欺、暴力団などの対策の状況も確認しました。

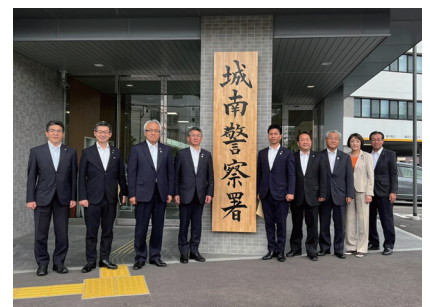


福岡市市民総合防災訓練に参加。  
福岡管区气象台の方による災害時の気象情報の活用方法など聴講しました。  
(6月3日 城南市民センターにて)



### 福岡県総合防災訓練に参加。

県、朝倉市、筑前町、東峰村の主催により、警察や消防、自衛隊など90件を超える防災関係機関と延べ1,700名が参加して『福岡県総合防災訓練』が開催されました!  
(5月28日 あまぎ水の文化村他4カ所にて)



### 警察委員会管内視察

6月3日、福岡県城南警察署と福岡県警察音楽隊を視察しました。



# 地域活動

## スポーツ振興

6月25日 第42回田島校区親善ママさんバレーボール大会

6月11日 城南区親善実年ソフトボール大会

## 福岡県議会

スポーツ立県調査特別委員会委員を拝命!スポーツおよび関連産業の振興、国際大会の誘致、県民の健康増進などに取り組み、地域の活性化に邁進してまいります。



## クリーン活動

6月11日 ラブアース樋井川清掃

5月21日 油山クリーン作戦



## 地域イベント

7月15日 笹丘校区夏祭り

7月8日 田島神楽

5月27日 城西中学校体育大会

## 陸上自衛隊での救助経験の強みを生かし、 安心安全な生活に力を注ぎます。

名前 宮川 宗一郎(33歳)  
家族構成 妻 長女 長男  
趣味 バレーボール、筋力トレーニング、ツーリング、読書、カラオケ  
座右の銘 感謝

- 平成元年12月29日生 福岡市出身
- 笹丘小学校卒業
- 泰星中学高等学校(現・上智福岡中学高等学校)卒業
- 防衛大学校理工学部(建築環境工学科)卒業
- 陸上自衛隊(ヘリコプター操縦士 平成25～令和4年)  
平成28年4～5月 熊本地震における災害派遣  
平成29年7～8月 北部九州豪雨における災害派遣
- 福岡県議会議員(1期目) ●警察委員会 副委員長
- 防衛議員連盟 事務局長 ●スポーツ立県調査特別委員会 委員
- 福岡県隊友会 相談役(陸上自衛隊) ●春日基地協賛会 顧問(航空自衛隊)

